

詠む広場

毎 日 俳 壇

片山由美子 選

小川 軽舟 選

西村 和子 選

井上 康明 選

着膨れてぶつかり歩く部屋の中

鎌ヶ谷市 海野 公生

△評▽部屋のあちこちにぶつかりながら歩くというのがユーモラス。わが身でありながらわが身ではないようなもどかしさ。

鳥一羽さへも見かけぬ冬田かな

枚方市 林 弘

△評▽視界に動くものが何ひとつない荒涼とした風景。「さへも」の強調が寒さを印象づける。何か焚く煙のけむり冬景色

羽生市 今成 公江

神棚の水替へて待つ除夜の鐘

東京 渡邊 顯

子の遺影夫の遺影や寒の入

春日市 渡辺真奈美

繡玉や試し書きして紙えらび

日野市 田村登代子

山を背に日々の暮らしや日脚伸ば

安中市 大澤信太郎

冬薔薇とこかよそよそしく咲きぬ

狭山市 小俣 敦美

玄関にあふるる靴やお正月

東京 小栗しづゑ

幾重にも色の重なり落葉道

和歌山市 福本 秀昭

朝昼晩三度の飯と雪掻きと

青森市 小山西豊彦

△評▽朝昼晩3度の飯が欠かせないように、3度の雪かきもまた生きるのに欠かせない。雪国の切実な事情を伝える。

なほ暗き路地へと夜鳴鯉鮒かな

雲南市 熱田 俊月

△評▽路地の先がこの世の外に通じているような寂しさ。「なほ暗き」がそう思わせる。星仰ぎ大地踏みけり去年今年

東京 伊藤 公一

会堂の蠟燭の香やクリスマス

竹原市 桜井 澄子

子に孫に良き世来よかし初詣

日向市 内田 遊木

伍珈琲飲む元日の午後しずか

松阪市 奥 俊

Sは鉄橋渡り冬景色

狭山市 小俣 敦美

対岸の中央市場今朝の雪

吹田市 三島あきこ

獲物なき狺犬の眼の虚ろなる

紀の川市 中島 走吟

朴落葉踏みしめ仰ぐ磨崖仏

奈良市 堀ノ内和夫

人々はやがて無言で雪を掻く

青森市 小山西豊彦

△評▽朝のあいさつや雪について言葉を交わしていた人々は、という情景が省略されている。雪国の人々の一日が始まる。

生涯を生き抜く津軽根雪踏み

青森市 天童 光宏

△評▽この地で生き抜く覚悟で、根雪をしっかりと踏み締める力強さが伝わってくる句。傷心の吾が影長し冬田道

羽生市 岡村 実

毎めきて栗の眠る寒九かな

高山市 直井 照男

寄鍋をつつく右利き左利き

和歌山 神野 一馬

冬景色もうすく始発とほる頃

雲南市 熱田 俊月

樹幹つたひ飛び石つたひ初雀

那須塩原市 谷口 弘

冬の雨やんで鳥の羽音かな

大分市 久富 豊治

除夜の湯に手術の痕をさすりけり

志木市 谷村 康志

古日記時には殴り書きもあり

土浦市 今泉 準一

茜雲ほどきつつ年始まりぬ

奈良市 伊東 勝

△評▽朝日に染まる雲が、徐々にほぐれていく元旦の光景。新年に意志があるかのような表現に、いききとしたためたさがある。避難所の体育館や息白し

避難所の体育館や息白し

金沢市 竹内 一二

△評▽能登半島地震を思う。白い息は、被災した人々のかげがえのない生命の証であろう。ただならぬことに明けたる寒さかな

鎌倉市 小川 求

社内誌に知る友の死や室の花

志木市 谷村 康志

倒壊の家屋そのまま日脚伸ば

西尾市 金子 恵美

着ぶくれて白髪まじりの警備員

明石市 増田 良子

老いたれど考へる童年迎ふ

奈良市 奥 良彦

生国は上州碓氷七日粥

前橋市 松本 潤

風邪の子の学級閉鎖ひとクラス

西宮市 上田 佳子

作風の母似と言はる無汁

白杵市 村上 玲子

たいれのおるのむ？

川野里子

ことばの五感

・アスピリン、アスパラ、こと座 発熱のさなかに聞けばなにもかもが詩

笠木拓

夕方から体がふわふわしている。たぶん熱がある。夕ご飯に出かける予定をやめベッドに入る。うつらうつらしていると部屋の壁に彫られた童の彫り物がこっちを見ている。

こはベトナム・ハノイのホテルで、耳を澄ませると廊下をさまさまな言語の会話を通してゆく。たぶんドイツ語、たぶんフランス語、たぶん中国語、と聞き分けられているうちにまた眠り、うつすら目覚めると周囲が白い。

童は目玉だけになって私に迫り、部屋の外を音楽が流れてゆく。バイオリンの高音が響いたかと思うとコントラバスがうめき、オーボエが不安げに鳴り、フルートがうれし気に震える。廊下を通る人の声が言葉であることをやめ音楽になったのだ。言語でなくなった音は自由で風や波のように耳に届く。揺れる気がするベッドで熱を測ると9度近い。

ふと思う。ハノイに赴任したこともあった奈良時代の阿倍仲麻呂は、長安で亡くなる時、こんな音楽を聴いたのではなかったかと。中国語でもない、日本語でもない、音楽に還った自由な音。唐のそのうつたる詩人に囲まれながら彼が二つの言語で表現した詩は、この自由で直接心を震わせる音楽に勝っていたらどうか？部屋のドアが細めに開き、「たいれのおるのむ？」と不思議な声がある。「ナイレノール（解熱剤）飲む？」と友人が不安げに聞いているのだった。

(かわの・さこ) 歌人